

# 平成 27 年度 研究計画書

## Research Plan FY2015

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座 教授
氏名 Name	林田理恵
専門分野 Academic Field	ロシア語学・ロシア語教育論

### 平成 27 年度 研究計画 Research Plan FY2015

主たる研究テーマ Principal Research Subject	①ロシア語ヴォイス研究 — 動詞語彙の意味特性との相関 — ②ロシア語アスペクト研究 ③ロシア語教育ネットワーク確立に向けた基盤整備				
研究計画 Research Plan	<p>① シア語再帰動詞受動文の成立要件について、非限界／限界という述語動詞における意味特性の本質的関与について考察を進めてきたが、今年度は分詞形受動文も含め、ロシア語受動文が言語システム内で不定人称文、語順転換文等、従来競合するとされてきた他構文といかなる機能分担を行っているか、動詞語彙の意味特性との相関性に基づいて全体像を明らかにする。②Ju.S.マスロフ著「アスペクト論」(全 4 章, 263 p.)について、今年中に出版社より翻訳書を刊行予定。共訳者との訳語のすり合わせ、索引作成等の最終作業を行う。③カリキュラム・教材開発, 指導方法, 評価システム, さらには就職関連情報等について各機関の教員が共同利用できる教育支援・就職情報サイト構築を上記科研プロジェクトとして完成させる。今年度はサイト構築の最終段階として、昨年度末までに開発したサイト内コンテンツ・システムの運用試験を進め、ユーザーから実際に使用した際の問題点, 意見集約を行い, 修正や仕様変更, 更なるコンテンツの充実等の作業を進める。また, 研究期間最終年度として, この 5 年間の研究成果を総括するシンポジウムを開催, さらに研究成果報告書を上梓する。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	ロシア語学	ロシア語教育論	認知科学		
キーワード Keywords	ヴォイス	アスペクト	ロシア語教育	高大連携	